



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 大同工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6373 URL <https://www.did-daido.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新家 啓史

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役事業本部長 (氏名) 清水 俊弘

TEL 0761-72-1234

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	26,417	5.4	806	51.5	1,603	27.1	921	42.0
2022年3月期第2四半期	25,055	32.0	1,662		2,201		1,587	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 2,793百万円 (32.9%) 2022年3月期第2四半期 2,102百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	84.40	
2022年3月期第2四半期	145.50	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	73,790	33,543	38.2	2,582.88
2022年3月期	71,490	31,249	37.0	2,421.14

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 28,184百万円 2022年3月期 26,419百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		35.00	35.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	10.3	2,300	15.0	3,100	0.6	2,000	14.8	183.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	10,924,201 株	2022年3月期	10,924,201 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	12,024 株	2022年3月期	12,014 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	10,912,185 株	2022年3月期2Q	10,912,241 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料]2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明 .....	2
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループをとり巻く経済環境は、新型コロナウイルス感染症に対する防疫と経済活動の両立が更に進む一方、ウクライナ情勢の長期化に伴う世界的な資源価格の高騰や欧米各国の利上げを起因とする円安の進行等により依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は26,417百万円（前年同期比5.4%増）となりました。利益面につきましては、営業利益は806百万円（前年同期比51.5%減）、経常利益は1,603百万円（前年同期比27.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は921百万円（前年同期比42.0%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

## ①日本

完成車メーカー向け二輪車用チェーン、アルミリムの受注が好調に推移したものの、コンベヤ案件の受注が低調に推移したことに加え、原材料価格やエネルギー価格の高騰の影響を受け、外部顧客への売上高は12,593百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は281百万円（前年同期比61.7%減）となりました。

## ②アジア

円安による為替換算の影響を受けたものの、前年同期は中国においてコンベヤ案件の受注が好調であったことに加え、当期における原材料価格やエネルギー価格の高騰の影響を受け、外部顧客への売上高は7,454百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益は171百万円（前年同期比66.2%減）となりました。

## ③北米

円安による為替換算の影響を受けたものの、前第1四半期において、IWIS-DAIDO LLC（持分法適用会社）を事業分離により設立後、前第4四半期より連結子会社DAIDO CORPORATION OF AMERICAが米国における自動車部品事業の商流から外れたことに加え、当期における原材料価格やエネルギー価格の高騰の影響を受け、外部顧客への売上高は1,888百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益は96百万円（前年同期比45.1%減）となりました。

## ④南米

二輪車用チェーン及び産業機械用チェーンの受注が好調に推移したことに加え、円安による為替換算の影響もあり、外部顧客への売上高は2,048百万円（前年同期比48.7%増）、営業利益は95百万円（前年同期比74.4%増）となりました。

## ⑤欧州

補修市場向けにおいて、二輪車用チェーンの受注が好調に推移したことから、外部顧客への売上高は2,433百万円（前年同期比20.9%増）、営業利益は211百万円（前年同期比49.8%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べ、現金及び預金が1,663百万円減少したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が1,175百万円、棚卸資産が1,163百万円、機械装置及び運搬具が731百万円、土地が404百万円増加したことなどにより2,299百万円増加し、73,790百万円となりました。負債につきましては、借入金が252百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が191百万円、賞与引当金が111百万円増加したことなどにより5百万円増加し、40,246百万円となりました。純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ、利益剰余金が538百万円、為替換算調整勘定が1,351百万円増加したことなどにより2,294百万円増加し、33,543百万円となりました。

## (3) キャッシュ・フローの状況に関する説明

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1,668百万円減少し、当第2四半期連結累計期間末には9,811百万円となりました。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,186百万円（前年同期は3,227百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,590百万円の計上、減価償却費1,307百万円の計上、仕入債務566百万円の減少、法人税等の支払額557百万円の発生等によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2,120百万円（前年同期は1,681百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2,131百万円等によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1,245百万円（前年同期は864百万円の使用）となりました。これは主に、借入金の純減額653百万円、配当金の支払額381百万円、非支配株主への配当金の支払額115百万円等によるものであります。

## (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,520	9,856
受取手形、売掛金及び契約資産	11,427	12,602
商品及び製品	4,695	4,959
仕掛品	3,000	3,603
原材料及び貯蔵品	3,896	4,193
その他	2,023	2,090
貸倒引当金	△51	△54
流動資産合計	36,513	37,252
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,017	6,167
機械装置及び運搬具(純額)	6,758	7,490
土地	2,809	3,214
リース資産(純額)	878	827
建設仮勘定	1,508	1,726
その他(純額)	924	1,073
有形固定資産合計	18,896	20,499
無形固定資産		
ソフトウェア	141	136
その他	33	29
無形固定資産合計	174	165
投資その他の資産		
投資有価証券	14,536	14,457
繰延税金資産	383	408
その他	955	968
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	15,874	15,833
固定資産合計	34,945	36,498
繰延資産		
社債発行費	31	38
繰延資産合計	31	38
資産合計	71,490	73,790

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,314	7,506
短期借入金	4,715	5,169
1年内償還予定の社債	2,500	700
リース債務	152	148
未払法人税等	530	512
契約負債	228	215
賞与引当金	529	641
役員賞与引当金	6	—
製品保証引当金	54	53
その他	2,408	2,378
流動負債合計	18,441	17,324
固定負債		
社債	3,200	5,000
長期借入金	13,149	12,442
リース債務	1,348	1,303
繰延税金負債	834	853
退職給付に係る負債	2,990	3,050
その他	277	271
固定負債合計	21,799	22,921
負債合計	40,241	40,246
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,536	3,536
資本剰余金	3,267	3,269
利益剰余金	14,524	15,063
自己株式	△8	△8
株主資本合計	21,321	21,861
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,561	4,442
為替換算調整勘定	446	1,798
退職給付に係る調整累計額	90	82
その他の包括利益累計額合計	5,098	6,323
非支配株主持分	4,829	5,358
純資産合計	31,249	33,543
負債純資産合計	71,490	73,790

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	25,055	26,417
売上原価	20,068	21,485
売上総利益	4,986	4,932
販売費及び一般管理費	3,323	4,126
営業利益	1,662	806
営業外収益		
受取利息	11	43
受取配当金	159	193
為替差益	236	598
持分法による投資利益	168	—
雇用調整助成金	7	11
その他	54	96
営業外収益合計	637	944
営業外費用		
支払利息	79	106
持分法による投資損失	—	7
その他	19	32
営業外費用合計	99	146
経常利益	2,201	1,603
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産売却損	1	7
固定資産除却損	27	7
特別損失合計	29	15
税金等調整前四半期純利益	2,172	1,590
法人税、住民税及び事業税	506	465
法人税等調整額	△96	73
法人税等合計	410	539
四半期純利益	1,762	1,050
非支配株主に帰属する四半期純利益	174	129
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,587	921

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,762	1,050
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59	△111
為替換算調整勘定	281	1,860
退職給付に係る調整額	△6	△7
持分法適用会社に対する持分相当額	4	1
その他の包括利益合計	339	1,742
四半期包括利益	2,102	2,793
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,937	2,145
非支配株主に係る四半期包括利益	164	648

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,172	1,590
減価償却費	1,351	1,307
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	47	3
受取利息及び受取配当金	△170	△236
持分法による投資損益 (△は益)	△168	7
支払利息	79	106
為替差損益 (△は益)	△112	△306
有形固定資産売却損益 (△は益)	1	5
売上債権の増減額 (△は増加)	39	△449
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△774	△187
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,280	△566
その他	△507	271
小計	3,240	1,545
利息及び配当金の受取額	231	278
利息の支払額	△74	△109
法人税等の還付額	84	28
法人税等の支払額	△254	△557
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,227	1,186
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△70	△73
定期預金の払戻による収入	70	73
有形固定資産の取得による支出	△1,549	△2,131
有形固定資産の売却による収入	13	23
関係会社出資金の取得による支出	△150	—
その他	5	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,681	△2,120
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△172	△68
長期借入れによる収入	500	—
長期借入金の返済による支出	△846	△585
社債の発行による収入	—	1,800
社債の償還による支出	—	△1,800
配当金の支払額	△161	△381
非支配株主への配当金の支払額	△98	△115
その他	△86	△94
財務活動によるキャッシュ・フロー	△864	△1,245
現金及び現金同等物に係る換算差額	139	510
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	820	△1,668
現金及び現金同等物の期首残高	12,707	11,479
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,528	9,811

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	南米	欧州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	12,346	7,441	1,877	1,377	2,012	25,055	—	25,055
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,098	337	—	0	—	4,436	△4,436	—
計	16,444	7,779	1,877	1,378	2,012	29,491	△4,436	25,055
セグメント利益	735	507	176	54	141	1,614	48	1,662

(注) 1. セグメント利益の調整額48百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	南米	欧州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	12,593	7,454	1,888	2,048	2,433	26,417	—	26,417
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,154	358	—	0	—	4,512	△4,512	—
計	16,747	7,812	1,888	2,049	2,433	30,930	△4,512	26,417
セグメント利益	281	171	96	95	211	856	△50	806

(注) 1. セグメント利益の調整額△50百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (重要な後発事象)

## (自己株式の取得)

当社は、2022年11月11日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議しました。

## 1. 自己株式の取得を行う理由

資本効率の向上と機動的な資本政策の遂行を可能とするとともに、株主還元策の一環として、自己株式の取得を行うものであります。

## 2. 取得に係る事項の内容

- |                |   |
|----------------|---|
| (1) 取得対象株式の種類  | 当社普通株式  |
| (2) 取得しうる株式の総数 | 300,000株(上限)<br>(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合2.75%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 2.5億円(上限)                                     |
| (4) 取得期間       | 2022年11月14日～2023年2月28日                        |